

肺がんに対する手術前の身体活動量と術後身体機能の関係についての検討

2021年10月1日から2024年3月31日までの間に、肺がんに対して手術を行い、手

術前の身体活動量評価および手術前後の身体機能評価を行わせていただいた患者さま

・研究協力をお願い

当科(リハビリテーション科)では肺がんに対して手術を行った方を対象に、受診時およびリハビリ診療時間に患者さんから取得された診療情報等を下記研究に利用し、匿名化した上で研究成果として公表することを予定しております。

なお、本研究は、当院倫理委員会にて承認、許可を得て実施しております。取得した情報は、氏名や住所など個人が特定できないよう、安全管理措置を講じた取り扱いを遵守し処理を行います。本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら、担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開いたしません。

本研究に該当すると思われる方又はその代理人の方で、試料・診療情報等が使用されることについてご了承いただけない場合は下記お問い合わせ先へご連絡ください。

1) 研究の概要

研究課題名：周術期肺がん患者の術前身体活動量と術後身体機能の関係

研究期間：2021年10月1日～2024年3月31日

診療情報の対象者(研究対象者)：上記期間に肺がんに対して外科的治療を行い、手術前の身体活動量評価および手術前後の身体機能評価を行わせていただいた方

研究責任者：北九州総合病院 リハビリテーション科 理学療法士：岡本一紀

2) 研究の意義、目的

肺がん患者さんは、身体活動量が低下していると言われております。手術前の身体活動量が多いほど、術後の回復がスムーズであることを経験しますが、身体活動量評価と術後経過との関連の報告は少なく一定の見解が得られておりません。また、アンケート調査での身体活動量との関連を報告したものもありません。そこで、手術前に身体活動量についてのアンケート調査を行い、術後の身体機能の回復や術後合併症の発生との関係を検討します。

これらの結果は、手術前の生活指導に役立てられると考えられます。

- 3) 診療情報等の項目
年齢、性別、BMI、併存疾患、肺機能検査、6分間歩行試験データ、SPPB、握力、身体活動量評価(IPAQ)
手術記録(手術時間、出血量、麻酔時間)、胸腔ドレーン留置日数、術後合併症の有無
- 4) 共同研究機関(試料・情報を利用する者の範疇および試料・情報の管理について責任を有する者)
ありません
- 5) 個人情報保護について
氏名、住所等の個人が特定される情報は含まれません。
- 6) 利益相反に関する事項
本研究は、特定の企業からの資金援助はないため、利益相反は発生いたしません
- 7) 結果の公表
リハビリテーション関連の学術誌への投稿を予定しております。
- 8) お問い合わせ先
北九州総合病院 リハビリテーション科
理学療法士 岡本一紀
〒802-8517 福岡県北九州市小倉北区東城野町 1-1
電話番号：093-921-0560